

あいち健康の森健康科学総合センター 紀要 原稿作成要領

本原稿作成要領は、あいち健康の森健康科学総合センター（以下、当センター）紀要への投稿にあたっての標準的な書式をまとめたものです。執筆者の専門性や報告内容（実践報告・研究論文等）に応じた柔軟な表現を尊重するため、厳密な制約は設けておりませんが、誌面の統一性を保つための目安として参照してください。

1. 構成および使用言語

- 構成要素： 原稿は、表紙（題名・著者名・所属）、本文（図表を含む）、参考文献、謝辞（任意）の順で構成してください。

例）実践報告の本文は、背景、目的、方法、結果、考察、結論、参考文献の順で構成すると良いです。特に、結果では、プロセス評価、影響評価、アウトカム評価を意識して記載すると科学的評価の意義が強まります。

- 使用言語： 日本語または英語とします。
英語原稿で著者が非ネイティブの場合は、事前に専門家による校閲を受けていることが望ましいです。

2. 基本レイアウト（推奨設定）

以下の設定を標準としますが、図表のサイズや内容に合わせて調整可能です。

項目	設定値（目安）
用紙サイズ	A4 判（縦置き・横書き）
段組み	1 段組み または 2 段組み（内容により選択可）
余白	上 35mm / 下 30mm / 左 25mm / 右 25mm
フォント（和文）	MS 明朝（または游明朝） 9.0pt ～ 10.5pt
フォント（欧文）	Times New Roman 9.0pt ～ 10.5pt
ページ番号	フッター中央に「－1－（全角ハイフン）」

【編集委員会より】ヘッダー（誌名、巻号、頁数等）は、最終的な編集工程で挿入しますので、投稿時は空欄で構いません。

3. 表記・用語のルール

- 文体： 「だ・である」調を基本とします。

- **専門略語**：初出箇所で必ず正式名称を併記してください。
例) 健康運動指導士（以下、指導士）、BMI（Body Mass Index）
- **単位**：国際単位系（kg, m, s, kcal, °C, %など）を使用してください。
- **編集修正**：誤字脱字の修正や表記揺れの統一のため、主旨を変えない範囲で事務局が字句を修正する場合があります。

4. 参考文献の記載例

文献は本文中の引用順に番号（1, 2, 3...）を付し、末尾に一括して記載してください。

■ 雑誌の場合

- **形式**：著者名.：論文題名. 誌名. 発行年（西暦）；巻（号）：開始頁－終了頁.
- **和文**：厚生太郎, 他.：地域高齢者に対する運動介入の効果. 健康運動研究. 2023；15(2)：45－52.
- **欧文**：Tanaka H, et al.：Effects of aerobic exercise on blood pressure. J Hypertens. 2022；40(1)：12-18.

■ 書籍の場合

形式：著者名：書名. 発行元, 発行年（西暦）, 引用頁.

- **和文**：山田花子：シニア世代のストレッチ指導法. ○○出版, 2021, 55－60.
- **欧文**：Smith J：Physical Activity and Health. ABC Press, 2020, 120-125.

【執筆のヒント：Word 設定のコツ】

執筆時の作業効率を上げるための補足です。

- **1 段と 2 段の使い分け**：
 - 大きなグラフや、横に長い表を多用する場合は「1 段組み」がレイアウト崩れを防げます。
 - 文字量が多く、学術的な論文形式にする場合は「2 段組み」が見やすくなります。
- **図表の挿入**：

図表は本文中の適切な位置に挿入してください。解像度が低いと印刷時に不鮮明になるため、写真は可能な限り鮮明なデータを使用してください。
- **インデント（字下げ）**：

段落の冒頭は、和文なら全角 1 文字分、欧文なら 3 文字分程度のスペースを空けるのが一般的です。